



第2回

大然 (おおじかり) マタギ  
吉川家 二十一代当主 **吉川 隆さん**



2020年7月、赤石川溪流マタギの宿「熊の湯温泉」にて

## 白神山地と共に生きてきた 大然マタギの言葉

青森県西津軽郡鰺ヶ沢町一ツ森に在住の吉川隆さんです。  
東北各地のマタギの中で最も古く、室町時代から現在まで六百年の歴史をもつ大然 (おおじかり) マタギの吉川家二十一代当主、赤石川溪流マタギの宿「熊の湯温泉」のオーナーである。  
「マタギとは、現代人が忘れつつある豊かな恵みを与えてくれる自然への感謝の心を持ち、過去から営々と受け継いできた祭りの一つ」と言う。  
「山の神が象徴する自然と人間が共同で催す祝祭の灯りを消してはならない。」  
千葉県佐倉市「国立歴史民俗博物館」は、先史・古代から現代に至るまでの歴史と日本人の民族世界をテーマに、展示されている。  
常設展示第4展示室「民族」コーナーは、「現代の狩猟者」青森・秋田にまたがる白神山地においてマタギの文化を受け継ぎつつ行われていた狩猟をテーマとし、吉川隆さんがモデルである。

白神山地ビジターセンターだより

# SHIRAKAMI

No. 39

2020秋号

写真:成田一哉



## NEWキャラクターの 名前が決定しました!



新しい仲間も  
いっぱいかわいがってね!



たくさん  
ご応募  
ありがとうございました

ぼくは  
**クルン**

ヤマネ (男の子)

わたしは  
**ピカリ**

ツキノワグマ (女の子)

ぼくは  
**アッキー**

アカゲラ (男の子)

特集

## 美しく可憐な「野生ラン」。

フェイスブック・  
インスタグラムも  
やってるよ!



白神山地ビジターセンター

〒036-1411 青森県中津軽郡西目屋村大字田代字神田61-1  
TEL0172-85-2810 FAX0172-85-2833 HP <https://www.shirakami-visitor.jp/>



# 白神山地で見かける野生ラン

## 間近で見られる野生ランの魅力

ラン科植物は世界では約26000種。日本でも280種を超えいまだに観察や研究で種が増え続けています。青森県では約80種(変種含む)が確認されていて白神山地ではその三分の二50種近くを見ることができます。

野生ランは{珍しく山奥にひっそりと咲く}などの印象があるかと思いますが、実際に山道や遊歩道沿いを歩いてみると割と簡単に見られることにびっくりするかもしれません。

また、季節が変わるたびに様々な野生ランの花が楽しめるのでそれを狙って訪れるのもよいかもしれません。

4月 マツ交じりの明るい林下に咲くシュンラン、イチヨウラン、ヒバ林にはヒメホテイランが楽しめます。

5月 池のほとりに唇弁に特徴のあるスズムシソウ、林下にはサルメンエビネが目につきます。

6月 湿原にはピンクの鮮やかなサワラン、湿った岩場にはコアニチドリが楽しめます。

7月 少し湿り気のある林下には暖地系のベニシユスランやちょっと目立たないヒツツバキソチドリが見られます。

8月 なんとといってもナツエビネが最盛期を迎えます。あの赤紫の花色は忘れられません。

9月 いよいよ野生ランの花期が終わろうとしています。それでもアケボノシユスランのかわいらしいピンク花がシーズン最後を締めくくります。

野生ランはその希少性と美しさから乱獲が多くだいぶ姿を消しました。それでも白神山地の山道や遊歩道でちょっと道端を覗くだけでとってもかわいらしい野生ランと出会えることができます。また、一人一人が自然を大切にすることで後人までその感動を引き継ぐことができます。

是非、間近で出逢える美しい野生ランを求めて訪れてみるのはいかがでしょうか。

野生ラン写真家 成田 一哉



水が滴り落ちる岩場などに生え、6月淡いピンクの花を咲かせます。



夏林下に美しい紫赤色の花を咲かせます。エビネの仲間としては一番遅く咲きます。



林下にナツエビネと同じ環境に生えれば混生していますがこちらの方が2か月近く早く咲きます。



ヒバ林下に生え津軽半島に多く青森県が南限です。その中でも白神山地が青森県の南限になります。



白神山地など限られた地域にしかなく数も少ないランです。花が終わると葉も枯れ暫くの間存在が分からなくなります。



菌従属栄養植物(腐生ラン)自ら栄養を作らず地中の菌から栄養をもらいます。



青森県ではヒバ林下に多く見られますが白神山地の一部では広葉樹林下にも生えています。



湿原に生える鮮やかなピンクの花を咲かせます。よく目立つので盗掘も後を絶ちません。



青森県では珍しい暖地系のランで葉に比べて花が大きく目立ちます。やや湿り気のある林下に生えます。



白神山地に限らず広くみられます。初秋淡いピンクのおちよほ口のような花を咲かせます。



池の周りなど湿潤地を好みます。唇弁が鈴虫の羽によく似ています。



小さなピンクの花をたくさんつけ中には100を超える花を咲かせるものもあります。湿ったところを好みます。



白神山地のガレ場を好みます。見劣る環境のようにも思えますが他の植物が進出できない分伸び伸び暮らせるのでしょう。



2枚の光沢のある葉が地面に張り付いているように見えます。その様子からミナモトラン(水面蘭)とも呼ばれます。



トキソウより小さく花は全開しません。ちよつと乾き気味の草地を好みます。



マツ交じりの林下に生えます。花が小さく目立たない色をしています。これも立派なランです。